

COVID-19 感染拡大に伴う当院の内視鏡検査、治療について

大阪急性期・総合医療センター登録医の先生方へ

平素は当院の地域医療連携にご協力いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、消化器内視鏡検査につきましては、日本消化器内視鏡学会より不要不急の内視鏡検査を延期・中止するよう強い勧告が出ております。その勧告に従い、当センターにおきましても、下記に示します緊急検査・治療、がん診療に関する検査・治療以外は、3か月以降の施行とすることと致しました。したがって、症候の伴わない便潜血などの検査、ピロリ菌除菌後の経過観察検査などは3か月以降となり、新型コロナウイルス感染の状況によってはさらに延期する可能性がございます。

先生方には多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

令和2年4月20日

大阪急性期・総合医療センター

内視鏡センター長 石井 修二

消化器内科主任部長 薬師神 崇行

緊急内視鏡検査・治療

- ・上下部消化管からの出血もしくは疑い
- ・ERCPによる治療が必要な胆管炎
- ・消化管狭窄に対する内視鏡的解除

がん診療に関する検査・治療

- ・早期の治療が望ましい消化器癌（ESD、EMR）
- ・膵癌、胆管癌に対するERCP、EUS-FNA